



登録団体活動紹介（寄稿）

名取市卓球協会

卓球協会のはじまり

お陰さまで、令和4年に協会創立50周年を迎えました。「卓球の楽しさと感動を名取からはばたけ未来の卓球人」をスローガンに、名取から卓球を「知ってもらおう」「広めよう」「伝えよう」「楽しさと感動」を届けようと、子供たちに「卓球の出会い」を、いつかは世界に羽ばたくような選手を育みたいと将来の協会に繋ぐ想いを込めたメッセージです。

当協会は、昭和47年名取市役所職員小島力雄氏のご尽力により市内の活動団体、企業クラブ等の代表者が発起人となり、翌年昭和48年卓球協会を設立し現在に至ります。発足当時は、卓球大会と卓球教室を主体に運営しており「卓球大会」では市内中学生・高校生・企業クラブが参加するなど活況を呈したものでした。

「卓球教室」は、体育協会職員と協会役員が協力しながら公民館へ出向き指導をして各公民館に卓球愛好会を発足させるなど普及活動にも力を注いでおりました。昭和55年度、待望の名取市民体育館が完成し活動拠点ができたことが、近隣卓球協会との交流をはじめ、大会のオープン化に踏み切るなど、当協会の活動を大きく前進させました。

卓球協会の取り組みと現状

卓球協会は、「競技卓球の普及振興・競技者の底辺拡大」と「生涯スポーツ卓球の推進」を柱に、卓球大会（4回）、卓球講習会（2回）、卓球のひろば（6回）、すぼかる卓球教室（24回）、登録団体会員の親善大会（2回）を運営しています。



【講習会 練習風景】

登録会員においては、市内公民館を活動拠点と

する9団体、会員数200名、会員平均年齢は67才と高齢化の波はここにも押し寄せておりますが、会員の皆様は各種大会・行事に積極的に参加されるなど益々元気に卓球に取り組んでおります。又、週数回の練習に公民館へ集い地域コミュニティの活性化に貢献しています。

技術向上と底辺拡大への取り組み

年2回の講習会は、20回を数える恒例の行事となりました。対象者に会員をはじめ市内の小中学生から仙南地域小中学校へ拡大し、講師には大学・高専校と連携して現役卓球部学生を招いて質の高い指導を目指しています。



【講習会 模範演技】

【指導の様子】

加えて、卓球との出会いの場となる「卓球ひろば」と競技者の受け皿として「すぼかるなとり」卓球教室を開催しています。卓球のひろば（自由練習会）は、これから卓球をはじめたい小学生・中学生とその保護者を対象に卓球との出会いをとおして名取市の卓球競技人口の拡大を目指しております。また、「すぼかるなとり」の卓球教室は競技を続けたい子供たちの受け皿として運営しています。子供たちが「礼儀」を重んじ「感謝」の心をもって自らが「考動」できるよう指導を心がけ、技術面は「基本・基礎」を重視し、長期的に卓球を続けられるよう成長を手助けすることを指導方針としています。将来の卓球協会の担い手にもなるであろう「未来の卓球人」に思いを馳せて卓球との出会いの場を提供してまいります。

令和4年8月3日

名取市卓球協会 代表 加藤 良範
（問合せ先：090-5232-1756）